

研究	I. 総括研究報告 世界の健康危機への備えと対応の強化に関する我が国並びに世界の戦略的・効果的な介入に関する研究 詫摩佳代
	II. 分担研究報告 1. 感染症関連国際文書の交渉プロセス・法整備・法運用の考察と検証 鈴木淳一 2. 病原体ゲノム配列データベース・ガバナンスに関する構造分析—国際ガバナンス諸枠組みを支える共通基盤の断片化、追跡可能性、相互運用性 武見綾子 3. パンデミック協定における知的財産・技術移転・アクセスと利益配分の取決めにに関する研究 中山一郎 4. WHOパンデミック協定の意義と課題に関する研究 西本健太郎 5. 条約（案）に記載される項目に関する各国の準備態勢の検討 藤田雅美 6. WHOの「パンデミック協定（仮称）」におけるパンデミックを引き起こす可能性のある病原体とその配列データをめぐるABS（PABS）の交渉過程と課題の分析 松尾真紀子
	III. 研究成果の刊行に関する一覧表

